



～コラムコーナー～

生理の貧困について

経済的な理由で生理用品を購入できない女性や女の子がいるという「生理の貧困」が世界中で問題になっています。神奈川県教育委員会では、県立学校の生徒の現状を把握するため、県立学校 12 校の女子トイレに生理用品を配備し、アンケート調査を行いました。

- ① 調査対象 生理用品を女子トイレに配備したモデル校の女子生徒
- ② 回答数 高校生 1,745 人、特別支援学校生（高等部）70 名
- ③ 調査期間 令和3年7月12日（月）から7月21日（水）までの10日間
- ④ 調査結果

	トイレに設置した生理用品を利用したか		今後も利用したいと思うか	
	利用した	しなかった	思う	思わない
高校生	711人 (40.7%)	1,034人 (59.3%)	703人 (98.9%)	8人 (1.1%)
特別支援学校生	23人 (32.9%)	47人 (67.1%)	18人 (85.7%)	3人 (14.3%)

生理用品が手元になくて困った理由は

<高校生>



<特別支援学校生>



トイレに生理用品が置いてあることで、安心して在校時間を過ごせますか（高校生だけの質問）



- ・ 調査に回答した生徒の約4割が、トイレにおいた生理用品を利用し、利用した生徒の内8割以上が継続して利用したいと答えました。また、約8割の女子生徒が、生理用品が手元になくて困った経験があり、高校生では、経済的な理由で生理用品を用意できなかった生徒がいることがわかりました。
- ・ 8割以上の女子生徒は、トイレに生理用品が置いてあることで、安心して在校時間を過ごせると考えていることがわかりました。

④ 調査結果から

今回の調査で、生理用品が手元にない場合、途中で買いに行く、あるいは早退すると回答した生徒がいたことから、生理用品を所持していないために、安心して在校時間を過ごすことができなかった生徒もいるようです。安心して学校生活を送れるよう必要な支援が求められています。

また、経済的な理由で生理用品を購入できないという問題の背景には、家庭の経済状況の問題だけではなく、虐待やネグレクトなど、子どもが保護者に相談できないような事情が関係している場合があるため、児童・生徒の状況を把握することも大切です。